



中央聖書神学校

Central Bible College

CBC後援会だより

vol.16

プリスキラとアキラなしにパウロなし 後援会なしに(将来の教職者・教会献身者たる)神学生なし

中央聖書神学校教師・学生主任 荻野 倫 夫

(ガリラヤ丸子町キリスト教会)



後援会の事業目的は「中央聖書神学校の教育と研究の成果を上げるために必要な物的、財的援助を行うことを目的とする」とあり、このことを有言実行くださっています(後援会規約、第二章「目的及び事業」第3条)。後援会なしに、今の神学生はありません。存在していたとしても全く異なった様相を呈していたでしょう。献身の気持ちはあっても、経済的な困難で学業を終えられず、あるいは入寮できなかつたかもしれません。後援会の働きの核は奨学金等の献金と言えます。ですが経済面だけでなく、会員の方々の人となり、信仰歴、人生経験などが神学生をガツチリ支えていて、もしかしたら物的、財的援助以上の力となつていくかもしれません。端的に言えば、後援会会員の愛が神学生を支えているのだと思います。

ある後援会会員の方と話す機会がありました。教会建築の際、近隣の他の宗教団体の強硬な反対にあったとのこと。その際、牧師にこうおっしゃったそうです。「私たち信徒が矢面に立ちます。『信徒が勝手にやった』ことにすれば、教会に傷はつかない」。後援会の方々のスピリットを象徴するエピソードではないでしょうか。「プリスキラとアキラ」は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれました」というパウロの言葉を思い出します(ロマ16:4)。

プリスキラとアキラは別の機会には、雄弁な神の人アポロに恥をかかせずに、神の道をもっと正確に説明します(使徒18:24-26)。この夫妻の深い知識と謙遜が伺えます。同様に、後援会会員の方々の中には、人生経験が豊富で信仰歴も長く、酸いも甘いも噛み分けた方々もたくさんいらっしゃいます。

そのような方々が若い神学生を支え、立てている姿に頭が下がります。

後援会によって支えられて卒業した教職者・教会献身者が、今度はどこかの教会に任せ、いわば祝福が還元され、循環します。使徒パウロによるからだのたとえのように、後援会と神学校が有機的に助けあい支えあい、命が流れてそれぞれ存在しています。「私達は等しく主に召された者です。それぞれの置かれた場でその召しにふさわしい歩みを、働きを求められております」とは至言です(峰田将・前後援会会長「CBC後援会だより」第11号、1頁)。会員の皆様方の献身を心から尊敬します。プリスキラとアキラなしにパウロはなかつたように、後援会なしに現在の神学生と未来の教職者・教会献身者はありません。その働きに心から感謝します。



6/28(月)

構内清掃作業奉仕 プロジェクト報告

中央聖書神学校後援会役員 福田智香子

主のご計画は万全で、雨天予報を一変して真夏の太陽を与え、B B Qもお楽しみもない募集でしたが、10教会から信徒、教職、宣教師ご家族と神学生の総勢40名が集合しました。酒井源次会長の挨拶と祈りで開会、グループ毎に草抜き、剪定、伐採の作業開始。黙々と草の奥に身をねじ入れて、土の上に腰を据えて、雑草と戦った約2時間でしたが、同時に自然を造られた神に感謝し、神学生の学び、またその未来が神様の特別な祝福の中にあるようにと、参加者一同が心一つにして祈りを捧げた感謝な時間でもありました。吹き出す汗を拭きつつ、三宅規之校長のお礼の挨拶と祈りをもって閉会となりました。参加者からは「神学生、先生方、信徒と共に奉仕ができて楽しかった。」と沢山の感謝の声を頂き、コロナ禍でも主のご計画が素晴らしい形で実施されたことをただただ感謝します。来年もご参加お待ちしております。



万全の段取りで辣腕を振るう福田さん

ろう者聖書学校 第6回卒業式

中央聖書神学校後援会長 酒井源次



2021年8月11日小岩栄光キリスト教会を会場とし、現地の出席がかなわない卒業生、ご奉仕者はオンラインでつなぎ中央聖書神学校・ろう者聖書学校第6回卒業式が執り行われ、大森たかみ姉(四万十)、金井扶美代姉(小岩栄光)の2名が卒業いたしました。後援会は、神学校と神学生を支援することを目的として、右記の2名の卒業生に記念品を贈りました。手話が読めない私です。覚える慶事でした。



ご好評につきTシャツ再販売決定!

ご注文はお早めに!



在庫がなくなり次第販売終了です

購入希望の方は後援会 E-mail に、お名前、住所、サイズ、枚数をご記入の上お申込み下さい。お申込みがありましたら、振込用紙を添えてTシャツを送ります。



デザインは北澤信嘉神学生です。1,500円(送料込)/1枚 S/M/Lサイズ

15号 CBCアーカイブスの答え
左から堀川満也師
弓山喜代馬師

基礎課程本科一年生による近況報告

お祈りとご奉仕と経済的なご支援を感謝いたします

構内環境整備プロジェクトに参加して



東レナン 正義
(名古屋神召)

6月28日の構内環境整備プロジェクトに参加したことは、私たちの主イエスの深い愛と、参加した兄弟姉妹の愛を感じる機会となり、本当に素晴らしかったです。暑い中で、手伝ってくれた子どもたちからお父さんお母さんが一体になって働き、参加してくれたみなさんの喜びを感じました。

勉強についての感想



二宮 章
(小川イエス)

基礎科では、旧新約聖書概論だけでなく語学や心理学、組織神学、教会史など様々な学びをしますが、これからの働きに必要なものだと思うと楽しいです。先生方は何を質問しても答えてくださいます。ですから今までの狭い見方や考え方を変えていけると信じます。よく考え、復習して学んだことを自分のものとしていきたいです。

寮生活の感想



安本 彩乃
(グレイスコスベル)

寮生活は人生初めての経験で、人と上手にやれるのか不安な点が多くありました。しかし面倒見が良く優しい人ばかりで、安心して相談したり、協調性をもっと身につけたいと思うことも増えてきました。このコロナ禍において、人と関わりを持ちながら暮らせることそして陰ながらサポートしてくださる後援会の皆様に心より感謝しております。

コロナ禍のキャンパスライフ



山崎ダシルバ
クレイトン
(真岡)

主の御名を賛美します。現在、コロナ禍で大変な状況でありますが、神学校生活は、充実しています。ズーム配信での授業もあり、集会やイベントも全国に配信出来るくらいネット環境が、充実しています。寮生活もコロナに気をつけて和気あいあいと生活しています。

2021年度 会員数・会費納入状況 (1月~9月)

区分	年間計画		実績		計画対比		
	会員数	会費(円)	会員数	会費(円)	会員数	会費(円)	会費進捗
法人会員	7	300,000	4	260,000	-3	-40,000	87%
教会会員	50	1,000,000	34	579,000	-16	-421,000	58%
個人会員	280	1,700,000	211	1,982,000	-69	282,000	117%
賛助会員	50	100,000	39	75,000	-11	-25,000	75%
合計	387	3,100,000	288	2,896,000	-99	-204,000	93%

これからもお祈りとご支援をよろしくお願いいたします
献身者が経済的な憂いがないように支援の輪に加わりましょう

編集後記

2年に亘る新型コロナウイルスの影響が続く中ですが、70名超の本科生・通信科生は対面授業、Zoomによるリモート授業、そして通信によるビデオ授業で学んでいます。不都合な面も沢山あると思いますが、この環境変化を前向きに受け止めて、一所懸命に成長しようとの思いが伝わってきます。そんな学生たちが憂いなく学べるように、教会も信徒も応援して行きましょう。

学校からの案内

11月23日(火・祝)にCBCフェスタが開催されます。すべてオンライン開催ですが、午前中は現役教師による神学校の講義を体験できる聖書信徒学校、午後は聖会、その後は神学校に興味がある方は、現役の本科生と通信科生との交流会で詳しく聞くことができます。

参加方法は、10月下旬頃、教会にチラシが案内されていますので、ご覧下さい。

事務局からの案内

●「入会案内書」案内ポスターを教会にお送りしますので、お近くの方に後援会へ入会をお勧めする時にご利用下さい。
●「郵便局の払込票」が必要でしたら、ご遠慮なく左記にお問い合わせください。

後援会入会フォーム

□PC、スマートフォン、タブレットをお持ちの方はこちらからお申込みができます。



発行 中央聖書神学校後援会
所在地 〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
Tel 03-33918-4925
Fax 03-33918-4064
E-mail kouenkaicbc-j.ac.jp
印刷所 後援会委員会
発行日 2021年11月1日